

年度別研究成果（本事業に関連する主な業績のみ）

■研究プロジェクト参加研究者

- [理論・政策・方法論研究] 穂坂光彦, 小國和子, 余語トシヒロ, 野口定久, ジェームズ・ミジレイ
[アクションリサーチ] 平野隆之, 岡本眞理子, 吉村輝彦, 石本馨, 全泓奎, 奥田佑子, 朴兪美
朱安新, 朴貞蘭, 久野研二, E.M.ルナ, D.G.J.プレマクマーラ
[支援論・人材育成論研究] 原田正樹, 田中千枝子, K.ウルジートウンガラク

■追加の参加研究者

- ・客員研究員：金永鍾
- ・客員研究所員：亀井伸孝, 秋吉恵, 石坂貴美, 吉野太郎, 日置真世
- ・連携研究者：彭華民、具滋仁、山首尚子、G.B. トウング

◆2013年（発表予定）

<雑誌論文>

- ・平野隆之・藤井博志（2013）「集落福祉の政策的推進に向けてー地域福祉による中山間地支援」『地域福祉研究』41号（2013.3. 予定）

<図書>

- ・余語トシヒロ（2013）『地域社会と開発：理論と方法』古今書院。（2013.1.予定）.
- ・岡本眞理子（2013）『発展途上国における低所得者のためのセーフティネットの構築』ふくろう出版。（2013.3.予定）
- ・金永鍾・日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター編（2013）『福祉社会づくり：理論と戦略』学知社（HAKJISA）。（韓国語）（2013.3.予定）
- ・彭華民・日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター編（2013）『福利社会：理論、制度及び実践』中国社会科学文献出版社。（中国語）（2013.2.予定）

◆2012年

<雑誌論文>

- ・Hosaka, Mitsuhiro（2012）“Urban Low-income Settlement Policies in Asia: The Enabling Principle Revisited”『日本福祉大学社会福祉論集』第126号, 1-13.
- ・野口定久（2012）「中山間地域再生プロジェクトー地域福祉人材養成講座からのメッセージ」『日本福祉大学社会福祉論集』特別号, 141-153.
- ・Midgley, James, Leila Patel & Edwell Kaseke（2012）“Indigenous Welfare and Community Based Social Development: Lessons from African Innovations”*Journal of Community Practice*. Vol. 20 (1/2), 12-31.
- ・Midgley, James（2012a）“Social Protection and the Elderly in the Developing World: Mutual Aid, Microinsurance and the State”*Journal of Comparative Social Welfare*. Vol. 28 (2), 153-163.
- ・Midgley, James（2012b）“Social Protection and Social Policy: Key Issues and Debates” *Journal of Policy Practice*. Vol. 11 (1/2), 8-24.
- ・Midgley, James & Sirojudin（2012）“Microinsurance and Social Protection: The Social Welfare Insurance Program for Informal Sector Workers in Indonesia” *Journal of Policy Practice*. Vol. 11 (1/2), 121-136.
- ・平野隆之（2012a）「参加保障を目指す地域福祉行政と利用者本位ー高齢期における社会的孤立の問題を素材にして」『社会福祉研究』113号.
- ・平野隆之（2012b）「地域のなかの共助ー共生社会の政策視点から考える」『月刊福祉』2012年1月号, 18-21.
- ・平野隆之・原田正樹（2012）「地域福祉の教材開発研究の一考察ー放送大学『地域福祉の展開』を素

- 材にして」『日本の地域福祉』25, 115-126.
- ・ 吉村輝彦 (2012) 「地域まちづくりの次世代化に向けて～場と縁のデザインとマネジメントに着目して～」『地域問題研究』地域問題研究所, No.82, 2-9.
 - ・ 全泓奎 (2012) 「韓国ホームレス福祉法の制定と包括的な支援」『ホームレスと社会』Vol.5, 82-90.
 - ・ 奥田佑子・平野隆之・榎原美樹 (2012) 「共生型プログラムの新たな動向と都道府県における地域福祉政策－全国都道府県調査と熊本県・高知県の比較から」『日本の地域福祉』25, 61-74. (査読あり)
 - ・ Premakumara, D.G.J (2012) “Land Tenure Issues and Improvement of Housing in Underserved Settlements in Colombo, Sri Lanka”*Meijo Asian Research Journal*, Vol.3, No.1, Meijo University, Japan, 39-50.
 - ・ 金永鍾 (2012) 「韓国における社会サービス供給体系の歴史的な経路と争点, 改善方向」『保健社会研究』32(2), 41-76. (韓国語)
 - ・ 石坂貴美 (2012) 「マイクロクレジット (小規模融資) 利用者のケイパビリティ拡大に向けた検討ーバングラデシュにおける事例の考察をもとに」『国立民族学博物館研究報告』36(2), 227-279. (査読あり)
 - ・ 吉野太郎 (2012) 「東日本大震災における災害時救援情報共有システムSahana(サハナ)の運用と評価」情報処理学会デジタルプラクティス誌 Vol3, No.3, 177-183.

<図書>

- ・ 穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編 (2012) 『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. (2012.11.予定)
- ・ 穂坂光彦 (2012) 「福祉社会の開発と研究」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 9-45. (2012.11.予定)
- ・ 穂坂光彦・池谷啓介・佐谷洋子・井上勉・寺川政司 (2012) 「まちづくりから福祉へ：大阪・北芝地区の試み」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 173-209. (2012.11.予定)
- ・ 平野隆之・日置真世・高橋信也 (2012) 「福祉からまちづくりへ：釧路市での試み」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 213-239. (2012.11.予定)
- ・ 平野隆之 (2012) 「地域福祉のミクロ・メゾ・マクロ」牧里毎治・岡本榮一・高森敬久編『自発的社会福祉と地域福祉』ミネルヴァ書房. 145-161.
- ・ 平野隆之 (2012) 金永鍾・朴兪美訳『日本の地域福祉：政策及び方法』学知社. (=平野隆之 (2008) 『地域福祉推進の理論と方法』有斐閣.) (韓国語訳)
- ・ 吉村輝彦 (2012) 「地域支援企画員による場づくり支援」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 121-134. (2012.11.予定)
- ・ 全泓奎 (2012) 『韓国・居住貧困とのたたかい：居住福祉の実践を歩く』東信堂.
- ・ 全泓奎・岡アユ美・藤原望 (2012) 「東北型多文化共生と定住外国人支援の課題」大阪市立大学都市防災研究グループ編『いのちを守る都市づくり』大阪公立大学共同出版会, 137-147.
- ・ 朴兪美 (2012) 「福祉行政における地域支援の展開：福祉保健所による中間支援」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 139-151. (2012.11.予定)
- ・ 朴兪美・具滋仁 (2012) 「韓国鎮安郡の村づくりにみる福祉社会開発：行政と住民をつなぐ専門家」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 153-166. (2012.11.予定)
- ・ Luna, Emmanuel M. (2012) “Education and Reduction” in Ben Wisner, JC Gaillard and Ilan Kelman, Eds. *The Routledge Handbook of Hazards and Disaster Risk Reduction. Oxo, UK and New York, USA: Routledge.*
- ・ 山首尚子 (2012) 「地域を耕し次世代につなぐ福祉のまちづくり：高知県土佐町の取り組み」穂坂光彦・平野隆之・朴兪美・吉村輝彦編『福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク』ミネルヴァ書房. 135-138. (2012.11.予定)

<学会発表>

- ・小國和子 (2012)「農村開発支援のフィールドワーカー—長期的視点から支援のインパクトを描く—」国際開発学会 (東京: 早稲田大学), 2012.12.
- ・平野 隆之・児玉善郎・原田正樹・朴愈美 (2012)「東日本大震災における中間支援組織に関する実践的研究」日本社会福祉学会第 60 回秋季大会自由研究発表, (2012.10.予定)
- ・平野隆之・朴愈美 (2012)「地域福祉計画における研究者のコミットメントに関する分析 (報告 2) —自己相対化と地域福祉政策への示唆」第 26 回日本地域福祉学会大会 (熊本) 2012.6.
- ・Ishimoto, Kaoru, Melisanda Berkowitz (2012) “Mobilizing Community Members to Promote CBID –Findings from Two Small CBID Projects in Japan–” 1st CBR World Congress, Agra, India. (2012.11.予定)
- ・JEON, Hong Gyu (2012) “Community Rebuilding Through Multicultural Work : Searching for the Inclusive Immigrant City from the Tohoku-model of Multicultural Practices” The 1st Meeting of Association for Urban Creativity, ,Observatoire Sociologique du Changement, Institut d’Etudes Politiques de Paris: SciencesPo) 98 rue de l’Universite, Paris, France, 2012.
- ・奥田佑子・平野隆之 (2012)「中山間地域における多機能共生型事業の支援ニーズと利用実態—高知県あったかふれあいセンター事業の利用実績分析から—」日本社会福祉学会第 60 回秋季大会. 兵庫県西宮市. 2012.10
- ・朴愈美・平野隆之 (2012)「地域福祉計画における研究者のコミットメントに関する分析 (報告 1) —3 人の研究者の相対化から」第 26 回日本地域福祉学会大会 (熊本) 2012.6.10
- ・Zhu, Anxin (2012) “The Integration and Dilemma of Community Organizations in Urban China” 台湾淡江大学未来学所,2012.4.
- ・Zhu, Anxin (2012) “The Perspective of Disaster Sociology” Socio-Legal Norms in Preventing and Managing Disasters in Japan: Asia-Pacific and Interdisciplinary Perspectives (Sydney, Australia), 1-2 March 2012
- ・金永鍾 (2012) 「新しい社会政策サービスの伝達体系へのパラダイムの転換のための政策課題」韓国社会統合委員会主催, 社会政策サービスの伝達体系の改変方法の政策討論会, 基調発表, 2012.6. (韓国語)
- ・金永鍾 (2012) 「社会福祉サービスの保障のための供給体系モデル」韓国社会福祉法制学会上半期学術大会主題発表, 2012.6. (韓国語)
- ・秋吉恵 (2012)「グローバルリーダーを育てる WAVOC の教育 ~インド農村での体験学習科目を事例として~」早稲田大学 WASEDA Vision 150 シンポジウム『教養教育を考える』, 2012.5.
- ・秋吉恵 (2012)「震災 1 年, 被災地の暮らしはどこまで戻ったのか—住民主体による復旧の小さな可能性と課題—」早稲田大学文化学術院シンポジウム『東日本大震災のいま—地域生活と再生に向けての課題—』 2012.4.

◆2011 年

<雑誌論文>

- ・穂坂光彦 (2011)「人びとの手による復興: インド洋の経験」『オルタ』430, 14-18.
- ・Sirojudin & Midgley, James (2011) “Social Protection and Community Based Social Security in Indonesia” *Social Development Issues*, Vol. 33 (1), 13-23.
- ・Midgley, James (2011) “From Mutual Aid to Microinsurance. Strengthening Grassroots Social Security in the Developing World” *Social Development Issues*, Vol. 33 (1), 1-12.
- ・Midgley, James (2010) “Global Debates and the Future of Social Development” *Social Work Researcher Practitioner*, Vol.22 (1), 8-23.
- ・Hirano, Takayuki (2011) “The Development of a Community-based Welfare Delivery System in Japan: Prospects of introducing a community welfare operation system” *Meeting the Challenge of Social Service Delivery*, Gyeonggi Welfare Foundation & Korea Institute for Health and Social Affairs, 133-140.
- ・榊原美樹・平野隆之 (2011)「小地域福祉の推進における地域組織とワーカー配置に関する研究—6 県比較調査研究から—」『日本の地域福祉』24. (査読あり)

- ・平野隆之（2011）「地域福祉に求められる新たな戦略ーケアと自治をつなぐ論理ー」『地域福祉研究』39, 2-11.
- ・吉村輝彦（2011）「名古屋市地域委員会に見る対話や熟議に基づくまちづくりの展開に向けた意義と課題ーモデル事業の実施プロセスの実態を踏まえてー」『日本都市計画学会学術研究論文集』第46巻第3号, 1033-1038. (査読あり)
- ・石本馨（2011）「海外協力活動における短期支援の試みー効果的な支援方法を目指してー」『日本リハビリテーション連会科学学会第12回大会論文集』114-115. (査読あり)
- ・全泓奎・南垣碩（2011）「韓国の居住問題と居住福祉政策」『居住福祉研究』No.11, 25-42. (査読あり)
- ・全泓奎（2011a）「社会的不利地域のインクルーシブな再生に向けて」『第10回韓日国際居住問題研究会議発表論文集』47-52.
- ・全泓奎（2011b）「韓国におけるワーキングホームレスの現状と居住福祉の課題」『総合社会福祉研究』39号, 総合社会福祉研究所, 75-84.
- ・全泓奎（2011c）「在日コリアン高齢居住者の生活と地域再生の課題を考える」こりあんコミュニティ研究会『コリアンコミュニティ研究』13-14.
- ・奥田佑子・谷口郁美（2011）「滋賀県社会福祉協議会における『研究会事業』の特徴と効果」『地域福祉実践研究』2, 31-40.
- ・朴兪美・平野隆之・穂坂光彦（2011）「方法としての『メタ現場』ー福祉社会開発における研究と実践の協働空間」日本福祉大学社会福祉学部『日本福祉大学社会福祉論集』第125号. 67-82.
- ・朴兪美・平野隆之（2011）「地域福祉政策の展開と都道府県行政職員のチーム形成ー熊本県事例を通して」『社会福祉研究』第111号(財)鉄道弘済会. 92-99. (査読あり)
- ・Luna, Emmanuel M. (2011) “Community Development Approach in the Recovery of Selected Communities Affected by Typhoon Ondoy Flood”. *Philippine Journal of Social Development*. Vol. 3.
- ・Premakumara, D.G.J (2011) “Urban Poverty and Vulnerability in a Globalizing Colombo, Sri Lanka: A Role of Grassroots Social Safety Networks”*Meijo Asian Research Journal*, Vol.2, No.1, Meijo University, Japan, 47-62.
- ・Premakumara, D.G.J, Yoshimura, T, Andrea, C (2011) “Local Governance and Environmental Sustainability in Minamata City: Beyond Deadlock and Conflict to Multi-Stakeholder Collaboration”*Planning for Sustainable Asian Cities*, 11th International Congress, Asian Planning Schools Association, the University of Tokyo, Japan, 1063-1074.
- ・原田正樹（2011a）「身近な地域における福祉活動に今、求められること」『月刊福祉』全国社会福祉協議会第94巻第1号, 12-17.
- ・原田正樹（2011b）「ソーシャル・キャピタルの質とはー地域の福祉力を高めるための実践からー」『保健師ジャーナル』医学書院第67巻第2号. 101-106.

<図書>

- ・Hosaka, Mitsuhiro and James Midgley (2011)“Conclusion: mutual aid, microinsurance and social security for all” James Midgley & Mitsuhiro Hosaka eds. *Grassroots Social Security in Asia: Mutual Aid, Microinsurance and Social Welfare*, Routledge.
- ・小國和子（2011a）「開発現象のフィールドワーク」鏡味治也他編『フィールドワーカーズ・ハンドブック』文化人類学会監修, 世界思想社.
- ・小國和子（2011b）「開発援助実践のフィールドワーク」佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学ー冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店.
- ・小國和子・亀井伸孝・飯嶋秀治編（2011）『支援のフィールドワーク：開発と福祉の現場から』世界思想社.
- ・野口定久・平野隆之編（2011）『リーディングス日本の社会福祉6地域福祉』日本図書センター.
- ・野口定久・外山 義・武川正吾編（2011）『居住福祉学』有斐閣.
- ・野口定久・後藤澄江・小松理佐子編著（2011）『家族/コミュニティの変貌と福祉社会の開発』中央法規出版.
- ・Midgley, James & David Piachaud eds. (2011) *Colonialism and Welfare: Social Policy and the British Imperial*

Legacy. Cheltenham: Edward Elgar Publishers.

- Midgley, James & Mitsuhiko Hosaka eds. (2011) *Grassroots Social Security in Asia: Mutual Aid, Microinsurance and Social Welfare*, Routledge.
- 岡本眞理子 (2011) 「マイクロファイナンス機関の活動と女性の貧困」宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編『世界の社会福祉年鑑』旬報社, 343-360.
- 朴貞蘭 (2011) 『地域社会福祉論』(共著) 創知社. (韓国語)
- 原田正樹・小林雅彦 (2011) 『改訂 民生委員のための地域福祉活動Q&A』中央法規出版.
- 金永鍾 (2011) 「新しい社会福祉行・財政パラダイム：中央から地方へ」『彼らではなく、私たちのための福祉』(共著)学知社. (韓国語)
- 具滋仁 (2011) 『マウルづくり, 鎮安郡 10 年の経験とシステム』(共著) 創造的都市再生シリーズ 20, 韓国国土研究院. (韓国語)
- 秋吉恵 (2011) 『貧困と女性：二重の制約は克服できるか—インドの農村酪農協同組合によるエンパワメント—』早稲田大学出版.
- 吉野太郎 (2011) 「震災後の神戸・長田に生まれた多文化センター」小國和子・亀井伸孝・飯嶋秀治編『支援のフィールドワーク：開発と福祉の現場から』世界思想社.

<学会発表>

- 穂坂光彦 (2011) 「人びとによる草の根社会保障をめぐる開発学的論点」国際開発学会第 22 回全国大会, 2011.11. 名古屋
- 小國和子 (2011a) 「「顔の見えるストーリー」を活かす：トラキ／ブギス混住農村における共同調査の事例より」国際開発学会 (名古屋大学), 2011.11
- 小國和子 (2011b) 「支援事業を日常実践に近づける：カンボジアにおける農村開発現場の事例から」国際開発学会 (法政大学), 2011.6.
- 平野隆之・朴愈美・澤田和子 (2011) 「地域福祉計画における進行管理の計画化と実態に関する分析 (1) ; 第 2 期地域福祉計画策定市区町村調査結果から」第 25 回日本地域福祉学会大会 (東京) 2011.6.
- 岡本眞理子 (2011) 「低所得層向けマイクロ保険制度の確立：インドの事例に学ぶ」国際開発学会第 22 回全国大会 (名古屋大学), 2011.11.
- 吉村輝彦 (2011) 「名古屋市地域委員会制度による地域予算検討プロセスの実態～対話性や熟議性に着目して～」『日本計画行政学会第 34 回全国大会研究報告要旨集』2011.9.
- Ishimoto, Kaoru (2011) “Capacity Building of CBR Worker in Social Inclusion Program”アジア太平洋作業療法学会 (タイ王国：チェンマイ市), 2011.11.
- 石本馨 (2011) 「学びの作業としての国際協力活動 ～リハ専門職者が得たものは？～」『第 45 回日本作業療法学会学会誌』(社) 日本作業療法士協会 (埼玉県) 2011.6.
- 石本馨 (2011) 「海外協力活動における短期支援の試み ～効果的な支援方法を目指して～」日本リハビリテーション連携科学学会 (滋賀県大津市), 2011.3.
- 奥田佑子・平野隆之・榊原美樹 (2011) 「都道府県行政による地域福祉政策実施の動向と課題 (2) ; 国の交付金・基金等の活用の分析から」日本地域福祉学会第 25 回大会. 東京都文京区. 2011 年 6 月
- Park, Yu-mi (2011) “Recent Welfare Reform for Service Delivery of Tokyo Metropolitan Government: A Shift from a Service Provider to a System Coordinator” Welfare Administration in Asian Cities -2011 International Seoul Welfare Forum, 49-84 (2011.12. Seoul, Korea)
- 朴愈美・平野隆之・澤田和子 (2011) 「地域福祉計画における進行管理の計画化と実態に関する分析 (2) ; 第 2 期地域福祉計画策定市区町村調査結果から」第 25 回日本地域福祉学会大会自由研究発表 (東京, 東洋大学) 2011.6.
- 朴愈美 (2011) 「今求められる研究者による地域福祉の実践研究とは」日本地域福祉学会東海北陸地方部会平成 22 年度地域福祉実践研究フォーラム発表. 59-64 (名古屋, 同朋大学) 2011.1.
- 朱安新 (2011) 「群か社会か—中国の都市環境における生活公共性を考えるために」日本都市社会学会. 2011.9.
- 金永鍾 (2011) 「社会福祉の対案的供給パラダイムとしての地域福祉の体系と政府の役割」韓国地方

政府学会 2011 冬季学術大会発表。(韓国語)

- ・秋吉恵 (2011)「資源余剰の地域内移転による福祉保障：日印農村事例に基づく試論」国際開発学会第 22 回全国大会, 2011.11.
- ・秋吉恵 (2011)「インドにおける農村女性の自律—女性酪農協同組合の役割」社会教育学会ラウンドテーブル「女性の自立とコミュニティビジネス—社会教育と女性」2011.9.
- ・石坂貴美 (2011)「バングラデシュのマイクロ医療保険—利用者の認識と行動」国際開発学会第 22 回全国大会, 2011.11. 名古屋
- ・吉野太郎 (2011)「震災後 15 年：神戸・長田に生まれた多文化センター」国際開発学会第 22 回全国大会, 名古屋大学, 2011.11

◆2010 年

<雑誌論文>

- ・Noguchi, Sadahisa (2010) “For Fulfillment of Housing for Life and Well-being - Integration of the Social Security System and Housing Resources”, *Journal of Housing Welfare* Vol.6205-208. (査読あり)
- ・平野隆之 (2010)「地域福祉の推進をめぐる政策課題：新たなパラダイムの意味」『社会福祉研究』108 号.
- ・Yoshimura, Teruhiko and D.G.J. Premakumara (2010) “Broadening the New Democratic Space for Citizen Participation : Role of the Next Generation of Community Action Planning in Asia”, *Journal of International City Planning*, 345-354. (査読あり)
- ・吉村輝彦・樋野公宏 (2010)「地区レベルでの防犯まちづくりに関する計画づくりの意義と課題」『日本都市計画学会学術研究論文集』45 巻 3 号, 331-336. (査読あり)
- ・吉村輝彦 (2010a)「対話と交流の場づくりから始める協働型まちづくりの展開に関する一考察—名古屋市名東区「めいとうまちづくりフォーラム」を事例に—」『日本都市計画学会学術研究論文集』45 巻 3 号, 313-318. (査読あり)
- ・吉村輝彦 (2010b)「対話と交流の場づくりから始めるまちづくりのあり方に関する一考察」『日本福祉大学社会福祉論集』第 123 号, 31-48.
- ・吉村輝彦 (2010c)「まちづくりの展開における『場づくり』の意義とその方法」『都市計画』日本都市計画学会 286 (Vol.59/No.4), 43-46.
- ・全泓奎 (2010a)「日本の低所得層に対する住宅政策の貧困」『第 9 回中日韓居住問題国際会議論文集』1-7.
- ・全泓奎 (2010b)「社会的排除に抗しうる「自立型の福祉社会システム」の可能性—ビッグイシュー名古屋ネットを中心として—」『ホームレスと社会』No.2.64-71. (査読あり)
- ・JEON, Hong Gyu & Toshio MIZUUCHI (2010) “The New Mode of Urban Renewal for the Former Outcaste Minority People and Areas in Japan” *Cities*, Vol.27, Supplement1, 25-34. (査読あり)
- ・朴愈美・平野隆之 (2010a)「『研究会事業』という地域福祉研究者の新たな実践現場—高知県での取り組み事例から」『地域福祉実践研究』創刊号, 78-88. 日本地域福祉学会.
- ・朴愈美, 平野隆之 (2010b)「都道府県による地域福祉政策化の実践的研究—高知県の「社協ステップアップ研究会事業」を通じて」『地域福祉研究』No.38, 116-125. (査読あり)
- ・朱安新等 (2010)「化解社会矛盾的社区管理服务机制研究」南京大学社会学院, 扬州市民政局.
- ・Premakumara, D.G.J. and Yoshimura, T (2010) “Revisiting Community Action Planning in Sri Lanka”, *Proceedings of the Conference of Asian City Planning 2010*, 129-133, The Asian City Planning Group, The City Planning Institute of Japan, The University of Tokyo.
- ・Yoshimura, T & Premakumara, D.G.J (2010) “Broadening the New Democratic Space for Citizen Participation: Role of the Next Generation of Community Planning in Asia”International Symposium on City Planning, *Journal of International City Planning*, Japan, 345- 354.
- ・Premakumara, D.G.J (2010) “Poverty and Inequality in Globalizing Asia”*Meijo Asian Research Journal*, Vol. 1, No.1, Meijo University, Japan, 47-60.

- ・原田正樹 (2010a) 「社会福祉協議会に期待される役割と機能」『まちと暮らし研究 社会福祉協議会と地域福祉』財団法人地域生活研究所, No9, 33-38.
- ・原田正樹 (2010b) 「コミュニティソーシャルワークの介入としての福祉教育」『コミュニティソーシャルワーク』中央法規出版, 第6号. 26-35.
- ・金永鍾 (2010) 「韓国社会福祉行政学の歴史的評価と課題」『韓国社会福祉行政学』12(1), 177-203. (韓国語)
- ・具滋仁 (2010a) 「住民主導まちづくり事業の評価と改善課題」『シオゼンイ』地域農業研究院, 10巻, 34-42. (韓国語)
- ・具滋仁 (2010b) 「韓国における契約職公務員制度の現状と課題：韓国鎮安郡の事例を中心に」『地域開発』2010年9月号. 38-43, 2010.

<図書>

- ・Midgley, James & Kwong Leung Tang eds. (2010) *Social Policy and Poverty in East Asia: The Role of Social Security*, Routledge.
- ・Midgley, James and Amy Conley eds. (2010) *Social Work and Social Development : Theories and Skills for Developmental Practice*, Oxford University Press, 2010.
- ・平野隆之・原田正樹 (2010) 『地域福祉の展開』放送大学教育振興会.
- ・全泓奎 (2010) 「韓国における野宿生活者と居住支援」『路上に生きる—すぐそこにある貧困』法律文化社, 229-234.
- ・全泓奎編 (2010) 『日韓における住宅困窮層への包摂的な居住支援モデルの構築に関する比較研究』財団法人第一住宅建設協会, 88.
- ・朱安新 (2010) 『中国后单位时期的地域社会形成—对于北京城心区单位型社区的实证研究』中国社会科学文献出版社.
- ・久野研二 (2010) 「マレーシアの障害者の生計：持続的生計アプローチの視点から」森壯也編『途上国障害者の貧困削減』岩波書店.
- ・Luna, Emmanuel M (2010a) “The Impact of Disasters in Education: Policy Implications and Community Roles”. In C.N. Zayas, V.V. Hernandez and A.C. Fajardo, eds. *Overcoming Disasters: Lessons from post disaster interventions in Japan and Southeast Asia*. Quezon City: Center of International Studies, University of the Philippines. 71-83.
- ・Emmanuel M. Luna (2010b) “Community Self Help and Partnership” in Ben Wisner and Alejandro Lopez-Carresi eds. *Disaster Management in the 21st Century: Achievements and Challenges*, Stadium Press LLC.
- ・プレマクマーラ,D. (2010) 「都市貧困概念の再考：コロンボの事例を通して」澤田貫之編『アジア社会経済論』創成社.
- ・原田正樹・柴田謙治・名賀亨編 (2010) 『ボランティア論—「広がり」から「深まり」へ—』みらい, 2010.4.
- ・原田正樹 (2010) 『ボランティアを楽しむ 奉仕体験活動のアイデア&指導演』学事出版.
- ・田中千枝子・小西加保留編 (2010) 『やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ よくわかる医療福祉 保健医療ソーシャルワーク』ミネルヴァ書房.
- ・亀井伸孝 (2010) 「コートジボワールの障害者の生計」森壯也編『途上国障害者の貧困削減：かれらはどう生計を営んでいるのか』岩波書店.

<学会発表>

- ・吉村輝彦 (2010) 「地域密着型中間支援組織による防犯まちづくり支援のあり方」『日本建築学会大会 学術講演梗概集』2010.9.
- ・吉村輝彦・水野義之・藤田忍・西村一朗 (2010) 「地域SNSのアクセスログ分析を活用したコミュニティ構造の研究可能性」『2010年日本社会情報学会合同研究大会研究発表論文集』, 2010.9.
- ・石本馨 (2010) “CBR as Learning Process for Medical Specialist” Asia-Pacific CBR Convention 2010,

Kualalumpur, 2010.11

- Ishimoto, Kaoru (2010) “Role of Occupational Therapist as Outsider in Community Based Rehabilitation -Findings from CBR Project in Malaysia-”15th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists, Santiago, 2010.5.
- 全泓奎・稲田七海・全昌美・平川隆啓 (2010)「日韓における住宅困窮層への包摂的な居住支援モデルの構築に関する比較研究」『日本建築学会大会学術講演梗概集』
- 全泓奎・稲田七海・全昌美・平川隆啓 (2010)「複合的居住支援によるホームレス支援の新たな方向の模索：ホームレス地域生活移行支援事業を中心に」韓国社会政策学会・韓国ホームレス研究会（ソウル），2010.7.
- 朱安新 (2010)「中国地方都市における環境ガバナンスのための社会的条件」国際ワークショップ「中国の環境ガバナンス」主催：総合地球環境学研究所中国環境問題研究拠点 共催：アジア研究所（京都），2010.3.
- 田中千枝子・鈴木由美子 (2010)「HIV感染症者の社会経済的問題に対するソーシャルワークアセスメントの再考」『日本エイズ学会誌』Vol.12 No.4，第24回日本エイズ学会（東京：高輪プリンス），2010.11.
- 田中千枝子・鈴木由美子 (2010)「HIV感染と貧困化の関係性の研究－ライフストーリーを追って－」『日本医療社会福祉学会第20回大会抄録集』（日本女子大学），日本医療社会福祉学会，2010.9.
- 亀井伸孝 (2010)「開発研究と人類学：『障害と開発』研究との対話」日本文化人類学会第44回研究大会（立教大学），2010.6.
- 石坂貴美 (2010)「マイクロクレジットは貧困をなくすことができるか？ ビジネスと人間の安全保障」人間の安全保障教育研究コンソーシアム2010年度研究大会（東京大学），2010.9.
- YOSHINO, Taro (2010) “Solution to the digital divide through Mongolian public education though a collaborative effort with Japanese universities” The 6th International Conference on Open Source Systems, Notre Dame, IN, USA, 2010.6.
- Tungu, Germinus Bahati (2010) “Community-focused Social Well-being and Development in Sub Saharan Africa: a Case of Tanzania” アジア福祉社会開発研究センターワーキングペーパー，2010.1. <http://www.n-fukushi.ac.jp/research/arc-wd/pdf/result/100120germinus.pdf>

◆2009年

<雑誌論文>

- 野口定久 (2009)「中山間地再生の理論と政策－「限界集落」から「ともいき集落」へ」『生活協同組合研究』2月号，38-45.
- 吉村輝彦 (2009)「場づくりを起点とした地域づくり支援のあり方－高知県地域支援企画員の取り組みに着目して－」『都市コンパクト化による地域まちづくり』日本建築学会大会（東北）都市計画部門パネルディスカッション資料集，132-135.
- 石本鑿 (2009)「CBR（Community Based Rehabilitation）における外部支援者の役割」『日本リハビリテーション連携科学学会 第10回大会論文集』54-55.
- Ishimoto, Kaoru (2009) “The Sustainability of CBR in Malaysia : Cooperation with the Health Service, Social Welfare, and Education”*Journal of International Health* Vol.24 No.3, 180.（査読あり）
- 全泓奎・全昌美・稲田七海・南垣碩 (2009)「日本国東京都におけるハウジングファースト施策における評価と可能性：ホームレス地域生活移行支援事業を中心として」『韓国住居学会発表論文集』126-131.（査読あり）
- 朴兪美 (2009a)「日本の地域福祉計画の動向と地方自治体選択の独自性に関する考察」『社会科学研究』Vol.25 No4, 慶星大学社会科学研究所，2009.（査読あり）
- 朴兪美 (2009b)「地域福祉計画における新しい「プロセス重視の枠組み」の提案－高浜市・都城市の検証から」『日本の地域福祉』第22巻，47-59，日本地域福祉学会.（査読あり）
- 久野研二 (2009)「「障害の社会モデル」と開発援助」『季刊福祉労働』124号，145-152.
- Kuno, Kenji (2009) “Disability equality training (DET) : Potentials and challenges in practice in developing

- countries”*Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal*, Vol.20 No.1, 41-51. (査読あり)
- ・田中千枝子 (2009) 「ソーシャルワークと権利擁護」『社会福祉学』Vol.50, 2号, 98-102.
 - ・Hayashi, Frost, Yamashita, Ulziitungalag and Nyamsurem (2009) “Child welfare needs in Mongolia: A collaborative exploration among three universities”, *International Social Work*, 57(1), 84-95. (査読あり)
 - ・亀井伸孝 (2009) 「少数言語とフィールドワーク：調査者のアクションと倫理の検討」(特集「アクションを待つフィールド」)『九州人類学会報』36, 14-25. (査読あり).
 - ・秋吉恵 (2009) 「貧困農家のリスク管理に果たす酪農協同組合の役割ーインド・グジャラート州の地域社会からの検討」『開発学研究』第19巻第2号, 1-7. (査読あり)
 - ・日置真世 (2009a) 「地域課題の解決を生活者が担う「ソーシャルビジネス」」『都市問題』第100巻第7号, 48~57.
 - ・日置真世 (2009b) 「人が育ち合う「場づくり実践」の可能性と必要性：コミュニティハウス冬月荘の学習会の検討」『教育学研究』第107号, 107-124.
 - ・日置真世 (2009c) 「困難を抱える子ども・若者とのその家族への地域生活支援の意義と課題の提言：支援実践を通しての分析と検討」『子ども発達臨床研究』第3号, 35-44.

<図書>

- ・平野隆之・榊原美樹 (2009)『地域福祉プログラムー地方自治体による開発と推進』ミネルヴァ書房.
- ・吉村輝彦 (2009) 「町並み保存活動とマンション紛争の相克：名古屋市白壁・主税・槿木地区におけるまちづくり活動」住民主体のまちづくり研究ネットワーク編著『住民主体の都市計画』学芸出版社, 74-82.
- ・原田正樹 (2009) 「茅野市における地域福祉計画と保健福祉の特徴：地域福祉研究の観点から」冷水豊編『「地域生活の質」に基づく高齢者ケアの推進』有斐閣, 296-311.
- ・亀井伸孝 (2009) 「言語と身体の違いを越えて関係を構築する：アフリカのろう者コミュニティにて」箕浦康子編『フィールドワークの技法と実際 II: 分析・解釈編』ミネルヴァ書房, 74-90.
- ・日置真世 (2009a) 『日置真世のおいしい地域づくりのためのレシピ50』CLC.
- ・日置真世 (2009b) 「地域ぐるみのセーフティネットづくり 北海道・釧路で行政とNPOの連携と協働」子どもの貧困白書編集委員会編『子どもの貧困白書』343-345. 明石書房.

<学会発表>

- ・小國和子・関根久雄 (2009) 「開発実践のフィールドワーク」『国際開発学会第10回春季大会報告論文集』国際開発学会(日本大学), 2009.6.
- ・平野隆之・朴愈美 (2009) 「社会福祉協議会事務局のマネジメント向上の方法に関する研究-高知県との研究事業を通じて」第23回日本地域福祉学会全国大会, 2009.6.
- ・Yoshimura, Teruhiko and Dickella Gamaralalage Jagath Premakumara (2009) “Governance and the Creation of “Ba” (Space) for Civic Action : Towards the Next Generation of Machi-zukuri in Japan” 10th International Congress of Asian Planning Schools Association, CEPT University, Ahmedabad, India, 2009.11.
- ・全泓奎・稲田七海・全昌美・南垣碩他 (2009) 「「居住」と「サービス」との複合化によるホームレス支援の新たな方向の模索」人文地理学会(名古屋), 2009.11.
- ・JEON, Hong Gyu and Geerhardt Kornatowski (2009) “Drawing on Local Resources to Regenerate Korean Flophouse Districts : Possibilities for an Alternative Housing Safety Net” The Asian Planning Schools Association, Ahmedabad 2009.11. (査読あり)
- ・JEON, Hong Gyu (2009) “Inclusionary Area Regeneration for Socially Disadvantaged Areas : Flophouse areas in Seoul, Korea” *The International Symposium on City Planning*, pp.130-139, 2009. (査読あり)
- ・金永鍾 (2009) 「社会福祉行政の学問的流れと役割：評価と展望」韓国社会福祉研究会 2009年春季学術大会発表, 2009.3. (韓国語)
- ・亀井伸孝 (2009) 「フィールドワーク入門：よりよい理解と信頼関係のために」第12回日本豊史学会福岡大会(福岡市中央区, 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)), 2009.12 (学会招待講演).
- ・亀井伸孝 (2009) 「人類学と開発研究：マイノリティの人間開発に参与観察を活かす」第8回九州人

類学研究会オータム・セミナー, 2009.11.

- ・亀井伸孝 (2009) 「生態人類学と『障害の社会モデル』」日本文化人類学会第 43 回研究大会 (大阪国際交流センター), 2009.5.
- ・秋吉恵 (2009) 「貧困農家のリスク管理に果たす酪農協同組合の役割ーインド・グジャラート州の地域社会からの検討」国際開発学会第 10 回春季大会 (日本大学), 2009.6.
- ・石坂貴美 (2009) 「国際開発におけるマイクロクレジットをめぐる事例の考察」平成 21 年度みんぱく若手研究者奨励セミナー (国立民族博物館) 2009.11 (最優秀発表賞受賞)
- ・日置真世 (2009) 「地域生活支援の場において担い手が育まれる条件と手法」～釧路における地域コーディネーターの実践分析～ 第 56 回日本社会教育学会研究大会 2009.9.

◆2008 年

<雑誌論文>

- ・穂坂光彦 (2008) 「柔軟な政策メカニズムが居住空間を改善する」『都市問題』第 99 巻第 5 号, 54-65.
- ・小國和子 (2008a) 「開発実践のフィールドワーク」『国際開発研究』17 巻 2 号, 9-22.
- ・小國和子 (2008b) 「農村開発フィールドワークと援助」『ワールドトレンド』第 151 号, 12-15.
- ・平野隆之・榊原美樹・澤田和子・朴愈美 (2008) 「高浜市地域福祉計画の検証ー『福祉まちづくり』の視点から」『日本福祉大学社会福祉論集』第 119 号, 19-39.
- ・平野隆之 (2008) 「日韓地域福祉計画における共同研究の意義と可能性」『日本福祉大学社会福祉論集』特集号, 7-18.
- ・岡本真理子 (2008) 「都市貧困問題に立ち向かうマイクロファイナンスの課題」『都市問題』第 99 巻第 5 号, 76-82.
- ・石本馨 (2008) 「マレーシアの CBR における Sustainabilityー保健・医療・福祉・教育との連携からー」『国際保健医療』第 23 巻増刊号, 100. (査読あり)
- ・全泓奎他 (2008) 「社会的に不利な地域の地域再生と居住支援の模索: 韓国・ソウル市敦義洞 103 番地のチョッパン密集地域を中心として」『居住福祉研究』6 巻, 84-93.
- ・朴愈美 (2008) 「韓国と日本の地域福祉計画比較ー政策意図と評価動向を中心に」『日本福祉大学社会福祉論集』特集号, 63-79.
- ・朴貞蘭 (2008) 「「地域 (社会) 福祉」の概念規定に関する一考察ー韓国の場合」『日本福祉大学社会福祉論集』特集号, 19-29
- ・久野研二 (2008) 「マレーシアの障害者法と障害者 (福祉) 政策」『季刊福祉労働』118 号, 121-127.
- ・田中千枝子 (2008) 「日本におけるソーシャルワーク理論の実践的展開」『社会福祉実践理論研究』第 17 号, 79-111.
- ・金永鍾 (2008) 「韓国の地域福祉計画策定の実態と改善方策」『日本福祉大学社会福祉論集』特集号, 49-61.
- ・秋吉恵 (2008) 「インド・グジャラート州の女性酪農協同組合を介した農村女性の自律達成プロセスの検証ー家庭の資源と機能の視点からー」『アジア女性研究』第 17 号, 32-41. (査読あり)

<図書>

- ・余語トシヒロ・佐々木隆 (2008) 『地域社会と開発: 東アジアの経験』古今書院, 2008.
- ・野口定久・早川和男・吉田邦彦 (2008) 『中山間地の居住福祉』信山社.
- ・平野隆之 (2008) 『地域福祉推進の理論と方法』有斐閣.
- ・朱安新 (2008) 「中国単位社会と社区」『英国・中国・日本における「公共性」の相異に関する比較社会学的研究』藤田弘夫編著, 157-171.
- ・Kuno, Kenji, Sue Rickell, Yuko Yokotobi (2008) *Disability Equality and Inclusion : Making a Difference*, Utusan Publications.
- ・Kuno, Kenji, Kevin McLaughlin (2008) *Promoting Disability Equality : From Theory into Practice*, Utusan Publications.

- ・原田正樹・伊賀市社会福祉協議会編（2008）『社協の底力ー地域福祉実践を拓く社協の挑戦』中央法規出版.
- ・金永鍾（2008）『社会福祉ネットワークの理解と活用』学知社，（韓国語）

<学会発表>

- ・吉村輝彦（2008）「まちづくりを展開する場のマネジメントのあり方に関する一考察ー名古屋市文化のみち榎木館の経験事例からー」『日本建築学会大会学術講演梗概集』F-1, 日本建築学会, 1107-1108.
- ・朴愈美（2008）「地域福祉計画評価の枠組みとしての『プロセス重視の合理性』」第 22 回日本地域福祉学会全国大会, 2008.6.15.
- ・朱安新（2008）「「脱単位時代」における都市社区をめぐる社会学的研究の展開」『中国をめぐる開発と和諧社会』愛知大学国際中国学研究センター2008 年度国際シンポジウム報告書, 2008.12
- ・朴貞蘭（2008）「韓日老人長期療養保健の地域社会福祉の観点からの比較検討及び示唆点」韓国地域社会福祉学会秋季大会発表, 2008.10.（韓国語）
- ・亀井伸孝（2008）「開発フィールドワークと言語的マイノリティ： アフリカの手話による調査の事例から」第 19 回国際開発学会全国大会. 2008.11.
- ・亀井伸孝（2008）「アクションというフィールド」日本文化人類学会第 42 回研究大会（京都大学）, 2008.6